

参 考



令和8年度公募3次公募Q&A

初版 令和8年6月5日

No	分類	質問	回答
1	応募について	放射線のがん療法の研究をしていますが、今回の医療RI研究への応募は可能でしょうか？	公募要領2.3.1～2.3.6を参照の上、ご研究の内容に適した領域を選びご応募ください。
2	応募について (研究費)	公募要領2.1に研究開発費の上限額が記載されていますが、課題遂行のために記載額を超えて提案することは可能でしょうか？	上限額を超えて申請することはできません。全研究期間の総額ではなく、 <u>単年度の上限金額を遵守してご申請ください。</u> なお、上限金額を超える申請は不受理となりますのでご注意ください。 (不受理になるケースが毎回発生しています)
3	応募について (技術支援)	公募要領1.2.1に技術支援の内容を盛り込んだ研究提案でも良いのでしょうか？	問題はございませんが、研究の主体は課題を提案された研究者の先生となりますので、課題を進めるに当たって適切な支援であることが分かるようにご記載ください。 なお、特にα線放出核種等に関連する技術支援事項は、提案書別紙－1「α線放出核種の使用にあたっての準備状況」に適宜記載して提出して下さい。
4	応募について (技術支援)	公募要領1.2.1に記載されている技術支援は誰でも受けられるのでしょうか？	採択された課題であれば技術支援お受けいただけます。専門技術の支援は、本事業のPS、POの承認を経たのちに必要な技術支援が行われます。
5	応募について (技術支援)	公募要領に、P-PROMOTEには研究推進サポート機関の研究支援が受けられると書かれていますが、数理モデルの作成支援やAIを用いた解析支援などを受けることができますか？	公募要領P.4に記載されている支援業務以外には対応することができません。なお、採択後に担当POと研究推進サポート機関等との課題会議で総論としてご議論にいただき、適切なお助言等を受けることが出来ます。
6	応募について (技術支援)	公募要領に、採後に研究推進サポート機関よりα線放出核種の供給等含めた関連支援を受けることが可能とありますが、制約条件などありますか？	特に定めていませんが、提案書の別紙－1の必要な事項を記載下さい。採択後に担当POと研究推進サポート機関等との課題会議で、支援等について議論し、本事業のPS、POの承認を経たのちに必要な技術支援が行われます。

No	分類	質問	回答
7	医療用RI研究	領域Bで放射線技術・核医学との違いは何でしょうか？	領域Bは、異分野融合技術領域として「放射線技術・核医学」を設定していますが、今回の第三次公募は、医療用RIとして「原子力委員会アクションプランに基づく「α線放出核種」に限定した公募になります。詳細は、公募要領「2.3 公募対象となる研究開発課題の概要（p 8-9）」を参照下さい。
8	医療用RI研究	がんの研究者ではないのですが、研究開発代表者として本公募に応募は可能でしょうか？	可能です。その場合は、公募要領に記載してあるように、診断法開発研究やラジオセラノティクスを含むα線放出核種を活用したがん根治につながる治療法等の開発する研究を公募していますので、適切な研究体制を整えてください。
9	医療用RI研究	研究分担機関から、さらに業務連携する機関とAMEDの研究委託契約を締結しても良いのでしょうか？	AMEDは研究代表者の所属する機関と委託契約を締結しており、規定上代表機関からの再委託契約までが認められています。再々委託は出来ません。
10	医療用RI研究	公募要領に「支援終了時に求められる成果」として、「応用研究フェーズ」と「探索研究フェーズ」がそれぞれ記載されていますが、どちらも達成する必要がありますか？	「戦略的研究枠医療用RI」としての提案を幅広く募るため、探索研究/応用研究フェーズを指定せず公募を行います。本事業の基本的なフェーズの考え方を定義しておりますので、本公募要領の別紙 1、2 を参考に提案書を作成してください。研究内容が、どの研究フェーズに重点を置かれているかで、研究期間終了時の目標を設定し、提案してください。採択に当たっては、研究の斬新性や新たな視点や発想に基づいた研究を高く評価しますが、研究計画内容の妥当性・実現可能性も併せて重視しています。

No	分類	質問	回答
11	医療用RI研究	公募要領に研究期間終了時に、次世代がん事業の研究提案に繋がる成果が求められています。次世代がん事業以外の事業に応募しても構わないでしょうか？	問題ありません。公募要領には、出口戦略としてのイメージを記載しております。
12	医療用RI研究	医療機器の開発を目指した研究提案でも良いでしょうか？	特に制限をするものではありません。
13	医療用RI研究	現在実施中の本事業の研究開発代表者が、別領域の研究開発代表者として本公募へ申請することは可能でしょうか？	課題の研究期間が重なる場合には、研究領域や研究フェーズに関わらず、別課題で本事業へ応募することはできません。詳細は、公募要領2.1.1「重複制限について」をご参照ください。
14	事業内重複制限	現在本事業の研究開発分担者をしていますが、新規に研究開発代表者として本公募で申請することは可能でしょうか？	研究開発分担者は、本公募へ研究開発代表者として応募可能です。詳細は、公募要領2.1.1「重複制限について」をご参照ください。
15	事業内重複制限	次世代がん事業の2次公募に応募していますが、今回の3次公募の両方に研究開発代表者として応募することは可能でしょうか？	応募は可能ですが、同一年度での研究開発代表者としての研究支援は1課題になります。公募要領2.1.1「重複制限について」をご参照ください。

No	分類	質問	回答
16	応募資格	企業研究者は応募できないのでしょうか？	本事業ではアカデミアの研究者が主体となり、研究シーズの研究開発を進めていただく公募と位置付けておりますので、研究開発代表者としての応募は出来ません。研究開発分担者としての研究参画は可能です。
17	応募資格	現在海外のラボに所属していますが、研究開始時には日本の研究機関へ赴任予定です。応募は可能でしょうか？	可能です。なお、応募はe-Radから行っていただきますので、新規赴任先のご担当者事前の承認をいただき、情報登録を行った上で、ご応募ください。なお、確認のため、あらかじめAMEDへご相談ください。
18	応募時の所属	7月か8月に異動する予定ですが、どこの所属で応募すればよいのでしょうか？	応募時の所属でご応募をお願いします。機関異動によって研究計画の進捗に影響のないことをAMEDで把握する必要がありますので、必要に応じてお問い合わせをする場合があります。
19	他事業との重複公募	AMED他事業（例：革新的がん医療実用化研究事業）の公募に申請していますが、この場合、2つが重複した内容になっても良いのでしょうか？	両事業への公募申請は可能ですが、内容が重複している場合、採択はどちらか1事業となります。公募要領Ⅱ-2.1をご参照ください。必要に応じて、他事業の提案内容を確認させていただきます。

No	分類	質問	回答
20	提案書（記載内容）	記載内容について、確認や相談を受け付けてもらえるのでしょうか？	記載方法についての問合せは受け付めますが、記載内容に関する事前の確認や相談の問い合わせには対応していません。
21	提案書（記載内容）	申請する研究経費で外注費の上限はあるのでしょうか？	直接経費の範囲内であれば、研究提案に沿って、必要な経費を積算出来ます。なお、使途やその内容について問い合わせをさせていただく場合があります。
22	提案書（記載内容）	過去に事後評価等を受けましたが、その内容については今回の申請では考慮されますか？	事後評価等の結果は本公募の採否には直接反映されるものではありません。
23	提案書（研究費の受け入れ状況/エフォート）	研究開発分担者の研究費の応募・受入等の状況・エフォートも記載が必要でしょうか？	研究開発代表者と同様に、必ず研究開発分担者も、それぞれ研究費の応募・受け入れ等の状況をご記載ください。
24	提案書（研究費の受け入れ状況/エフォート）	現在応募中の課題を含めてエフォート率を書くと100%を超えてしまう場合があるが、どのように記載すればいいのでしょうか？	提案書へ記載する「応募中の研究のエフォート」は、合算で100%を超える場合であっても研究を遂行するために必要なエフォート率をお書きください。 応募中のすべての採否が決定した後は、100%を超えないように調整してください。

No	分類	質問	回答
25	提案書 (TPP・TRP)	TPPやTRPがなぜ必要なのでしょう？	製薬企業は、探索研究のかなり早い段階から、どのがん種のどのセグメントで創薬を行うのかを定めて研究開発を実施しています。P-PROMOTEでは、TPPやTRPを作成することによりアイデアが整理されて研究進展に結びつき、将来的には実用化に向けて企業との共同研究等の討議を進める際に、必要となるデータを顕在化させるためのツールになることを企図しています。
26	提案書 (TPP・TRP)	探索研究フェーズの初期段階のためTPPやTRPを正確に描くことが出来ないのですが、これらを作成しなければならないのでしょうか？	TPP、TRPはそれぞれ、提案された研究を進め、「どのような薬剤開発」行い、「どのような治療法」を目指すのかをまとめていただくものになります。完成版である必要はありませんので、記載例を参考にアイデアを整理することを目的に作成してください。
27	提案書（PPIの記載）	細胞や動物実験が主体の基礎研究で患者参画を考えることは非常に難しいのですが、どうしたら良いのでしょうか？	本事業は、創薬の基礎・応用研究段階ですので、PPIの取組みは必須ではありません。

No	分類	質問	回答
28	提出書類	なぜヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式の提出が必須なのでしょう？	公募要領3.5に詳しく記載していますが、AMEDが支援する研究開発から得られたデータの利活用を推進するために、AMEDデータ利活用プラットフォームの整備を進めています。本事業で得られたゲノムシーケンスデータを、将来的に、これらのデータベースで統合して利活用を進めていくためには、その測定方法を教えていただく必要があります。そのため、プロトコール様式の提出を必須としています。
29	提出書類	動物実験に関する自己点検・評価結果はどこから入手すれば良いのでしょうか（どこにあるのでしょうか）？ また、分担も含めた全機関のものを提出する必要がありますか？	動物実験に関する自己点検は各大学・研究機関等で行われています。所属機関に確認して最新版を提出してください。 また、研究代表機関で動物実験を実施する場合には、代表機関のみの動物実験に関する自己点検・評価結果をご提出ください。なお、代表機関では動物実験の実施予定がなく、分担機関で実施するような場合には、実施する分担機関のみの動物実験に関する自己点検・評価結果をご提出ください
30	提出書類	公募要項にPMDAの事前面談・対面助言についての記載がございますが、これらの資料は必須でしょうか？	公募要領4.2に記載がありますが、応募時に「レギュラトリーサイエンス戦略相談」等の資料は任意での提出となっています。ご提出の際は、本提案に関連する「レギュラトリーサイエンス戦略相談」の内容をまとめたものを添付してください。その内容等に関する書式はありません。

No	分類	質問	回答
31	提案書 (別紙 1)	提案書の「別紙－ 1」に「α線放出核種の使用にあたっての準備状況※ ※本記載内容が、提案課題の評価に反映されるものではありません。」とありますが、α線放出核種の入手先やRI利用施設を提案時になくても、応募できますか。	本公募は、公募要領に記載しておりますが「原子力委員会アクションプランを踏まえ、次世代がん医療加速化研究事業で行う研究の採択と支援を目的にしています。その為、仮にα線放出核種の入手や実施施設が現時点で確保されていない場合であっても、研究の斬新性や新たな視点や発想に基づいた研究であるか、また研究計画内容の妥当性・実現可能性と、更に研究推進サポート機関の技術支援の必要性等も含めても併せて評価します。
32	審査基準	提案書の審査基準を教えてください。	提案書の評価視点は公募要領5.1.2「審査項目と観点」に記載しています。また、公募要領2.2に各研究フェーズ及び研究領域で求める成果等記載していますので、そちらもご参照下さい。また、別表1「P-PROMOTEでの研究領域と研究推進の考え方」および別表 2「推進する研究課題の研究フェーズとイメージ」に本事業でのフェーズの考え方を各領域ごとに提示していますので、こちらも併せてご参照ください。
33	e-Rad	e-Radに最終申請の登録が出来ないのですが、どうすればいいのでしょうか？	技術的な内容や操作に関するお問い合わせは、e-Radへ直接お問い合わせください。 なお、研究開発代表者および研究開発分担者の所属や役職等に変更があった場合に機関承認されずに止まっていることがあります。 e-Radは、システム上、複数の承認を同時にすることが出来ません。研究開発代表者だけでなく研究開発分担者の変更承認依頼がされていないかどうかをご確認ください。